

TOSHO Lady

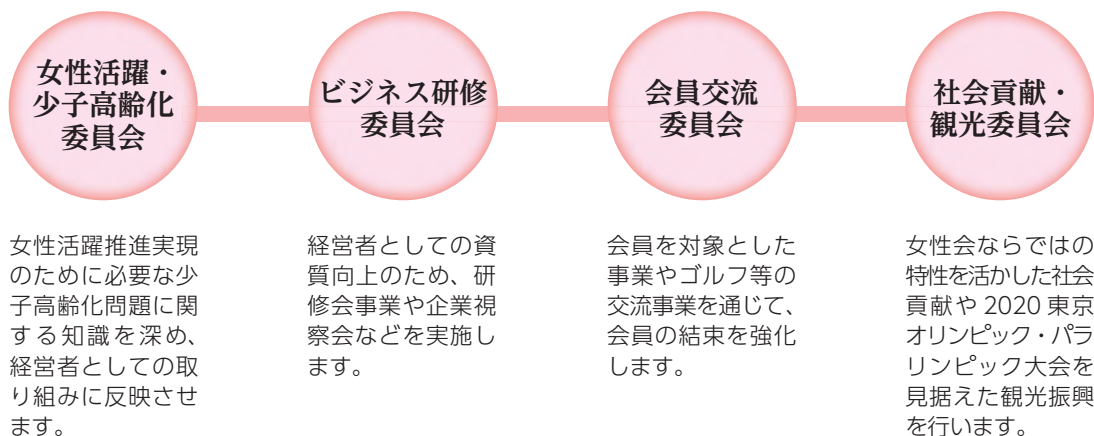


組織概要

設 立	1949 年 9 月 会員数 330 名 (2019 年 3 月末)
活動スローガン	「 勇気とやさしさ クリエイティブな発想と実践 」
目 的	本会は、会員相互の親睦と連携を密にして、女性経営者の向上と商工業の振興を図り、兼ねて社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 (女性会規則第 1 条)
会員資格	本会の会員は、東京商工会議所会員事業所の女性経営者ならびに女性役員で本会の目的に賛同した者とする。 (女性会規則第 4 条) ※法人・個人は問いません。
年 会 費	年額：10,000 円 ※加入初年度の年会費は加入月により異なります。 4 月～ 9 月加入 10,000 円 (全額) 10 月～ 2 月加入 5,000 円 (1/2) 3 月加入 年会費はいただきません

女性会の主な活動

東京商工会議所女性会は、東京商工会議所会員企業の女性経営者・役員が加盟する団体です。会員が相互に手を取り合い一丸となって、女性の活躍推進や社会貢献などの 4 つの目標に対して委員会を設置し、事業を行ってまいります。



ご挨拶

東京商工会議所女性会は1949年に設立され、平成から令和に元号が変わった記念すべき年に、創立70周年を迎えることが出来ました。

これまでの歴史を振り返りますと、わが国の社会・経済が大きく変化するなか、女性の地位向上や女性が活躍するための環境づくりのために、諸先輩方が先頭に立ち力を注いでくださいました。これまでのご努力に思いを馳せますと、改めて70年の歴史の重さを感じます。

現在の役員体制が発足してから2年半が経過しました。「勇気とやさしさ クリエイティブな発想と実践」というスローガンのもと、東商女性会の伝統や価値観を大切にしつつ、新しいことに取り組む勇気を持ち、女性ならではの発想と感性を生かしながら、会員が一丸となって未来志向で活動を展開してまいりました。

現体制の最終年度であり、創立70周年の節目でもある今年度は、会員一人ひとりが女性会に課せられた使命の重みを再認識し、女性がより輝ける社会の実現に向けた事業を具体的に展開していきたいと存じます。

これからも、会員が協調性をもちながら女性がより輝ける社会の実現に向けて活動を展開し、新たな歴史を刻み、後世に誇ることができる素晴らしい女性会をつくっていきましょう。



東京商工会議所女性会
会長 藤沢 董

女性活躍・少子高齢化委員会



副会長
渡邊 光子



委員長・理事
志賀 律子



副委員長・理事
会田ミヨ子



副委員長・理事
丸田 清美



理 事
安藤 邦子



理 事
北島 アキ子

ビジネス研修委員会



副会長
藤岡 実佐子



委員長・理事
内川 あ也



副委員長・理事
石井 清香



副委員長・理事
遠藤 陽子



理 事
瀬良 衣香

会員交流委員会



副会長
畠山 笑美子



委員長・理事
田口 絢子



副委員長・理事
亀田 敦子



副委員長・理事
田中 洋子



理 事
大石アケミ



理 事
中島 早苗

社会貢献・観光委員会



副会長
作田 智子



委員長・理事
倉光 美也子



副委員長・理事
財津 澄子



副委員長・理事
永野 愛



理 事
井上 象英



理 事
小池 淑子

監事



南部 洋子



山田 美代子

TOSHO Lady

東京商工会議所 女性会の活動 (2018年4月～2019年3月)

会員総会

会員が一丸となって 活動を展開していきましょう

実施日：2018年6月11日(月)

会場：丸の内二丁目ビル内会議室

6月11日に、2018年度の会員総会を開催しました。

冒頭、藤沢会長から、「私たち女性会には、一人一人が輝く女性経営者団体として、発想力と行動力を活かした具体的な活動が求められています。そのためには、役員だけではなく、会員の皆様の積極的な参画が必要です。創造的な発想で考えることを大切に、様々な価値観や考え方を受け入れながら、会員が相互に手を取り合い、一丸となって活動を展開していきましょう。」と挨拶がありました。

会議では2017年度の事業活動報告と収支決算、2018年度の事業活動計画と収支予算が決議されました。続いて、創立70周年記念事業や2018年度のスケジュールについて説明がありました。

また会議の後には、東商女性会 表彰内規第1項に基づき、役員として9年以上女性会に貢献されたとして作田副会長が表彰されました。なお、全商女性連 表彰規則第4項に基づき、商工会議所女性会等の活動に著しい功労があったとして連名にて行いました。

会員交流

委員会

新入会員を囲む懇親会

実施日：2018年4月13日(金)

会場：ホテルグランドパレス

4月13日18時より、九段下のホテルグランドパレスに於いて、会員交流委員会による「新入会員を囲む懇親会」が開催されました。

「本日から桜と入れ替わり、新入会員さんを囲んで、皆様のコミュニケーションの花が次々と開きますように…」という委員会担当畠山副会長の開会の言葉に始まり、藤沢会長からは「委員会の活動にご参加ください。複数の委員会に所属できますので、ぜひ興味のある委員会を見つけてください。また、本日はマジックのトランプに負けないほどの名刺を繰り出して、新しいお仕事のヒントやパート

ナーを得ましょう。」という挨拶がありました。続いて、女性会の4つの委員会が、それぞれの特徴を紹介しました。

この後、亀田理事による乾杯で、洋食中心のコースでの会食が和やかに始まりました。デザートコースに入ると、いよいよお待ちかねのマジックショー、手品師「はやぶさ」氏の華麗なテクニックに、会場からはたびたび歓声と拍手が沸き、宴席は盛大に活気づきました。

最後に全員で記念写真を撮影し、43名の出席による「新入会員を囲む懇親会」は、温かな笑顔の海の中でお開きとなりました。



会員交流
委員会

新たな年の幕開け 新年懇親会

実施日：2019年1月28日(月)

会 場：ホテル椿山荘東京 ホテル棟 1 階 ボールルーム

1 月 28 日に新年懇親会を開催し、女性会会員のほか、来賓に内閣府男女共同参画局の池永肇恵局長らを迎え、208 人が参加しました。

冒頭挨拶した藤沢会長は、「東商女性会は、相手の立場に立って考える「思いやり」、幅広い視野と多様な考え方で新しいことに挑む「勇気」、女性ならではの「発想・感性」を大切に、会員一丸となって活動してまいりました。本年は創立 70 周年を迎え、日本の伝統や文化など『伝える』をテーマに記念式典を行う予定です。会員の声を聞きながら、新しい歴史を築いていきたいと思います。」と力強く語りました。

東商を代表して挨拶に立った佐々木隆東商副会頭は「東商では創立 140 周年と新東商ビル竣工の節目を迎え、『140 (意志を) つなぐ 東商ビジョン』を策定しました。女性会が掲げた『伝える』のテーマと軌を一にするものであり、ビジョンの具現化に向け、精力的にご活動ください。」とご挨拶されました。また、来賓挨拶に立った池永局長は「東商女性会によるクリエイティブな発想と実践によって女性活躍がさらに進むよう様々な事業に取り組んでください。」とご挨拶されました。

その後、来賓や新入会員の紹介に続いてアトラクションなどが催され、会場は大いに盛り上がりしました。



ビジネス
研修委員会

ボッチャ体験で 東京2020大会の機運醸成を

実施日：2019年3月5日(火)

会 場：笹塚ボウル多目的スペース等

日本ボッチャ協会によると、『ボッチャ』とは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツです。2020 年に東京で開催のパラリンピックの正式種目になっています。

身障者スポーツの広がりや関心を高める為、2018 年 8 月に東商女性会として初めて、『ボッチャ』体験を行い、大好評を得て今回 2 回目の開催となりました。前回同様、4 チームに分れ、ボッチャのルール説明に続き、ゲームが始まりました。チーム戦 8 ゲームでしたが、集中していた為か、あっという間の時間でした。

優勝チームは藤岡副会長率いる B チーム（財津理事、南部監事、谷委員）で、山崎名誉会長から優勝カップを授与されました。また、各チームにはそれぞれ、副賞が贈られました。

交流会では乾杯後、食事をとりながら、実際に『ボッチャ』観戦をした委員から、観戦報告がありました。知能スポーツと言われるボッチャですが、ボッチャ体験を通して身障者スポーツの一層理解を深め、魅力を実感した 1 日でした。



東京商工会議所女性会創立 70 周年記念事業

記念視察会 ― 3.11 を忘れない 仙台女性会との交流会 ―

実施日：2018年9月17日(月)～18日(火) 視察先：宮城県仙台市および本吉郡南三陸町

9月17～18日、東京商工会議所女性会の創立70周年記念事業の第1弾として仙台・南三陸視察を実施しました。

初日、仙台駅に着いた私たちは、仙台女性会の方々のお出迎えを受け、市内を巡りました。東北大百年記念川内萩ホールで鑑賞したエストニア国立男声合唱団は、深い森に降る慈雨が、心身に染み入るような深く美しい声でした。私たちは、古典と現代作曲家による斬新な曲を思いもよらぬアレンジで堪能しました。特に「牧童の呼び声」では、荒れ野で羊を追う生活の情景が、見えるようでした。コンサート後半には、なんと客席の東北大合唱団OBらが立って、郷土の漁り歌「斎太郎節」の返歌があり、仙台公演ならではの感動でした。

そのあと仙台女性会の方々と、一般観客では経験できない出演者とのレセプションにも参加し、それまでの国際交流の輪が、海外からの復興支援の絆となった実例を見た思いでした。

その夕刻、ホテルモントレーでの東京・仙台女性会親睦会は、地産の食材による料理をいただきながら楽しく始まり、やがて共に街にくり出し、夜が更けるまで歓談が続いたのでした。

二日目の震災遺構視察では、2011年3月11日に爬行高度40m近い津波に襲われ、今もまさに復興中の南三陸の町をバスで視察しました。

津波で多くのご友人を失ったという若い語り部さんは、何気なく「まだ全て工事途中なので、ナビを使うと道に迷う町です。」と笑うのですが、自分の故郷を自分で守るという、その決意はどんなに凄いことかと思えます。

小高い丘の上では小学校校舎の時計が、津波に呑み込まれた14時48分で止まっています。そこで話される被災時の悲喜こもごも…。それはニュースなどでは放映出来なかった生の声でした。「さんさん商店街」も、何もない荒野に忽然と現れる西部劇の町ようです。

少しでも地盤を高くするため積み上げられた土の高さと量、以前の町の上に全く違う町を作るという大工事からは、そこに至るまでの人々の想いと力を感じ、声が出ないほど胸を突かれました。



ホテル観洋の「おかみの震災講話」では、従業員を、避難者の人命を、そして地域の未来を守るために心を奮立たせ、災害発生時から現在に至るまで一歩一歩を進んできたおかみの、経営者としての決断をお聞きすることが出来ました。人が支えあうと、これほどまで強くなれるのだと感じる一方で、自分がその立場であつたらどのくらいのことが出来るだろうかと、大きな揺れに驚いた、東京でのあの日を振り返りました。

充実した時間はあっという間。帰りの仙台駅にも、仙台女性会会長と名誉会長がお見送りにいらして下さり、私たちは「次は他のだれかを誘って、仙台や三陸にまた来よう。」という気持ちを新たに帰路に着きました。



『Christmas Concert』 ～寺井尚子クインテット～

実施日：2018年12月17日(月) 会場：ヤマハホール（銀座）

東京商工会議所女性会創立70周年記念事業の第2弾として、日本におけるジャズバイオリニストの第1人者である寺井尚子氏をお招きして、ピアノ（北島氏）、ベース（金子氏）、ドラムス（荒山氏）、パーカッション（松岡氏）のクインテットによるジャズコンサートを開催しました。

チケットも完売となり期待の高まる中、ジャズの生誕100周年を記念して昨年リリースしたアルバム『The Standard』の曲を中心に9曲とアンコールで2曲を演奏していただきました。

1曲目は「ジャズワルツ」、そして「シャレード」、熱い「Spain」と演奏し…中盤過ぎには、クリスマスの時期にふさわしい、ピアノ奏者の北島氏の作曲した軽やかで流れるような曲調の『Lonely Christmas』、最後に『Sing Sing Sing』などアンコール2曲で締めくくられました。コンサート中は寺井氏の身体から溢れ出てくるエネルギーで、躍動感のある、そして時には情熱的でドラマチックな演奏に引き込まれました。



寺井氏からも演奏を終えて「皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。そして、皆さんから頂いたエネルギーを明日からのパワーにしたい」という、まさにホールで寺井氏と客席が一体となったコンサートを象徴するような挨拶をいただきました。

今回の創立70周年記念事業のコンセプトは”伝える”ですが、コンサートの冒頭には主催者を代表して藤沢会長より「伝えるという意味は個々人の捉え方でいろいろなことが連想できると思いますが、この事業を通じて、ひとりひとりが伝えるという意味を考えて欲しい」という挨拶がありました。そして、閉会の挨拶で渡辺副会長は「このコンサートから寺井氏のエネルギー溢れる、胸に染み入る演奏が心に届いたのではないのでしょうか？」と、素晴らしい演奏を称賛しました。

コンサート会場を後にするご参加者の微笑みあふれる様子が印象的でした。ジャズを心ゆくまで楽しんだ素敵な夜となりました。



ビジネス
研修委員会『起業成功への道
～新しい子育て支援～』実施日：2018年6月11日(月)
会 場：丸の内二丁目ビル内会議室

昨今、少子化問題が叫ばれる中、「女性が活躍する社会」は最も大きなテーマです。そこで、子育てを支援しながら、女性が活躍できる場を提供するビジネスを立ち上げた山下氏（第14回女性起業家大賞最優秀賞受賞）から、その経緯や思いをお話いただきました。

株式会社こころくのビジネスは、レストランと業務提携をし、その店又は至近距離にあるスペースに、託児室を設けることによって、子供を預ける間、ママにゆっくり食事を楽しんでもらうというサービスを提供するものです。子育て中のママの満足度を上げることで、より良い子育て環境をつくり、ママも子供も生き生きできる社会づくりに貢献しています。

スマホによる予約時間をアイドルタイムに固定することで、店にとってはアイドルタイムの活用と新規顧客の開拓につながり、子供はママとあまり離れていない場所であってママと称する保育スタッフと安心して遊ぶことができ、ママは普段子連れでは行けないレストランでゆっくり食事をするによってリフレッシュできる、さらにだっこママという職場の提供にもなるという、すべての関係者にとって Win-Win の関係を追及したビジネスモデルです。

このビジネスモデルでは時間とコストの節約につながります。従来は、まず店を予約し、ベビーシッターを別途予約し、当日はシッターの来訪を待つか保育場所へ連れて行かなくてはならないが、このシステムでは、レストランへ連れて行くだけのワンストップで済むので、時間が短縮されます。また、子供は急な発熱を起こしがちだが、同社では当日キャンセルでも取料を取らないので、コスト削減にもなり、ママの安心に繋がるとのことでした。

同社は、何よりも子供が最大の受益者となるサービスを目指し、子育て環境の「体質改善」に取り組んでおり、そ

の他、企業への出産から職場復帰への支援や、街ぐるみの子育て支援も行っています。女性活躍社会が叫ばれる中で、企業での子育て支援等が期待されていますが、とりわけ経営者にとり、実状や多様な視点から見識を伺うことが出来ました。

ビジネス
研修委員会『渋沢栄一の「論語と算盤」
で未来を拓く！』実施日：2018年11月29日(木)
会 場：目白の歴史的建造物（非公開）

渋沢栄一により東京商工会議所が設立されてから今年で140周年になります。そこで、渋沢栄一の5代目子孫にあたるシブサワ・アンド・カンパニー(株) 代表取締役渋澤健氏に『渋沢栄一の「論語と算盤」で未来を拓く！』と題してご講演をいただきました。

第1部の講演会では、渋沢栄一氏の『論語と算盤』に描かれている思想を、現代の経営にどう生かすことができるかについてお話いただきました。『論語と算盤』は大リーガーの大谷選手も愛読しているそうですが、今日においても世代を超えて様々な読者層に親しまれているようです。渋沢栄一は、『論語』を『道徳』に、『算盤』を『経済』に読み替え、この2つの概念は経営において、未来を拓く車の両輪として両方が必要であり、この両方を重視するやり方を渋澤氏は「と」の力と呼び、『正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することはできない』と説いています。これに対し『道徳』か『経済』かどちらか一方を選択し積み上げていくやり方を「か」の力と呼び、「と」の力、すなわち『道徳』と『経済』のどちらも重視する思想が、会社を持続可能にするうえで最も大切であると力説されました。さらには、枠にとらわれないさまざまな視点（ダイバーシティ）を取り入れて会社経営をすることの意義や地域創生の必要性を強調されました。そして当の幕末に生まれた渋沢栄一も尊王攘夷という考えから脱却して、国力を高めるべく4度渡米をし帰国後は多様な視点を持つようになり、会社設立や社会的事業に携わり民間力を高めるべく現代の企業の礎を作ってきたとお話されました。

第2部では、美味しいコース料理をいただきながら、会員の谷リエ子さんによるシャンソンのミニコンサートが開催され「ラ・ボエーム」「リラの駅の切符切り」などご披露いただき、素敵なシャンソンの世界に引き込まれ、参加者一同夜の楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



『「古事記」の中の伝説—語り継ぐ愛と創造の物語—』

実施日：2019年3月27日(水)

会場：ジェットストリーム (メンバー制クラブ) Tokyo FM11 階

日本人のルーツとされる神々について書かれた、日本最古の歴史書「古事記」を日本神話に精通する暦法研究家の井上象英氏より「天地創造」から「天の岩屋戸」そして「天孫降臨」につながるドラマを、マーク・エステル氏の素晴らしい絵画



をバックに熱演をされました。参加者一同は井上講師がお話しされた古事記の世界に引き込まれ、素晴らしい時間を過ごすことができました。

懇親会では、Tokyo FM の 11 階から皇居を望み、桜が満開の素晴らしい展望の中、美味しいランチを楽しみ、懇親を深めました。

『最先端の“ロボット技術”とふれ合える施設「サイバーダイナスタジオ」視察』

実施日：2018年5月24日(木)

会場：サイバーダイナスタジオ

サイバーダイナスタジオの視察が、5月24日に開催され、23名の会員が参加いたしました。つくばエクスプレス研究学園駅近くの商業施設内にあるスタジオへ集合し、藤沢会長のご挨拶の後、視察を始めました。

『世界初サイボーグ型ロボット HAL®』視察

「HAL®」の名前は、マスコミにも取り上げられ一般に知られていますが、その由来は、Hybrid Assistive Limb®、つまり、「異なるもの(人とロボット)の混在」「補助」「手足」だそうです。サイボーグ型は世界初とのことで、単なる弱った手足の「補助」や重い荷物を運ぶなど機能の「拡張」だけでなく、装着者の脳神経系の繋がりを促進し「改善」「再生」に向かわせるという意味だそうです。

それを可能にしているのが、「動きをコントロールしているのは装着者の<意思>であり、人工知能(コンピュータ)やコントローラ(他者)ではない」ということです。脳神経系からの動作意思を反映した微弱な生体電位信号を捉えて身体装着ロボットを動かすという研究は、1991年、筑波大学山海嘉之教授により始められたとのこと、少子高齢化も人手不足も社会問題となる以前に発想をした先見性や技

術力、それを長年かけて事業化してきた事業展開力に接して大変勉強になりました。

『動作体験』

シアタールームに移動し、このサイボーグ型ロボットの未来を描いた映像を鑑賞しました。

その後、スタッフの方から、2度の脳内出血で倒れて半身不随になったご家族が HAL® を装着した訓練により、自立して一人で歩けるようになった経過を伺いました。HAL® を装着して初めて立てた時、絶望が希望に変わったお話などが印象的でした。

最後に、参加者が一人ずつ腕の表面に流れた生体電位信号をキャッチするセンサーを装着して動作体験をしました。

腕を曲げた時だけでなく、曲げようと考えただけで、ロボットの関節が曲がることを体験した時には、技術の素晴らしいさに感嘆の声があがっていました。



関東商工会議所女性会連合会 第33回総会<埼玉大会> (2018年度)へ参加

実施日：2018年5月29日(火)

会場：大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮

関東商工会議所女性会連合会 第33回総会が大宮ソニックシティとパレスホテル大宮で開催され、当日は74女性会から808名の会員が集まり、東商女性会からは36名が参加しました。

総会後は、東京大学名誉教授の養老孟司氏による「幸せになるための生き方、暮らし方」と題した記念講演会のほか、原田勇雅氏(バリトン歌手)と森田義史氏(ピアニスト)によるアトラクションが行われました。

懇親会では、山中信人氏による津軽三味線や南越谷阿波踊りが披露され、埼玉の魅力が凝縮された会となりました。その他、埼玉県内の名産・特産品が多数取り揃えられた物産展も催され、埼玉県内女性会のおもてなしの心が感じられました。

短い時間でしたが、埼玉の地域資源を満喫すると同時に、関東管内女性会ネットワークの強さを再認識する大会となりました。

各地
女性会**全国商工会議所女性会連合会
創立 50 周年記念式典・
第 50 回岩手総会**実施日：2018年10月3日(水)
会 場：盛岡市民文化ホール

岩手県盛岡市において、全国商工会議所女性会連合会創立 50 周年記念式典・第 50 回岩手総会が開催され、308 女性会から 1,451 名の会員が集まり、東商女性会からは 5 名が参加しました。



全国商工会議所女性会連合会の藤沢会長は、「全商女性連は、昭和 44 年、各地域において活動を展開していた商工会議所女性会の手により、全国的な活動を通じて日本の女性活躍を推進し、地域経済、日本経済の発展に寄与することなどを目的に結成した。創立から半世紀という節目を無事迎えられることに、改めて、諸先輩方、また本日ご出席の方々をはじめとする全国女性会の皆様、そして全商女性連を支えていただいた方々に厚く御礼申しあげる」と述べるとともに、「地域の女性リーダー役として、各地域の女性活躍を牽引するとともに、一人一人が輝く女性経営者団体として、さらなる活動を展開していこう」と呼びかけました。

続いて、日本商工会議所の三村会頭が挨拶に立ち、「わが国経済は、総じて緩やかな回復傾向にある。『成長する経済』の実現には、民間が主体となって、働き方改革、生産性向上、多様な人材の活用などにより、経済の好循環をもたらし、日本経済再生と地方創生の実現を図ることが必要。女性の柔軟かつ、大胆な発想と実行力が重要な鍵となることは間違いない。地域を支える企業や人材づくりを強力に後押しする各地女性会の活動は、わが国の経済成長を支える重要な基盤であり、今後も、各地域の活性化をけん引していただきたい」と女性会の活躍に期待を寄せました。

続いて、佐々木会長（岩手県商工会議所女性会連合会）、谷村会長（岩手県商工会議所連合会）から歓迎の挨拶が述べられた。さらに、創立 50 周年を記念し、内閣総理大臣・自由民主党総裁の安倍晋三氏（代読：日本商工会議所石田専務理事）、経済産業大臣の世耕弘成氏（代理：経済産業省

経済産業政策局 風木審議官）がお祝いのメッセージを添えた後、経済産業省東北経済産業局の相楽希美局長、岩手県の達増拓也知事（代理：岩手県 商工労働観光部 戸館部長）、盛岡市の谷藤裕明市長が祝辞を述べました。

その後は、第 17 回女性起業家大賞授賞式と全国商工会議所女性会表彰授賞式が行われました。

最後に、次の開催地である鹿児島商工会議所女性会連合会が全国大会の PR を行った後、連合会旗が藤沢会長から宮之原会長（鹿児島商工会議所女性会連合会）に引き渡されました。

各地
女性会**都内 4 商工会議所女性会共催
八王子市内 武蔵野御陵・東京富士
美術館・オリンパス瑞古洞視察**実施日：2018年11月30日(金)
会 場：武蔵野御陵、東京富士美術館、オリンパス瑞古洞（東京都八王子市内）

都内 4 女性会では地域振興をテーマとして、八王子商工会議所女性会が幹事となり、東京、武蔵野、町田商工会議所女性会会員を招き視察会を開催、56 名の参加がありました。八王子の数ある名所の中から、今回は、武蔵野御陵、東京富士美術館、オリンパス「瑞古洞」を視察しました。

まず、武蔵野御陵では、静謐な空気に包まれ、歴代の天皇陛下・皇后陛下の御陵に参拝しました。続いて東京富士美術館のギャラリーを訪問し、期間限定特別展「国立ロシア美術館所蔵 ロシア絵画の至宝展」の作品に触れ西洋美術の歴史を学びました。最後はオリンパス「瑞古洞」を見学。国内外で高いシェアを誇る医療用内視鏡や光学機器の技術を学んだほか、貴重な展示物・機材に触れる機会もありました。

視察終了後は八王子の名店「とうふ屋うかい」で懇親会を開催し、季節の豆腐料理と、歴史ある地元八王子花街の芸者衆の歌と踊りを堪能しました。各女性会員同士、交流が十分図られ、有意義な事業となりました。



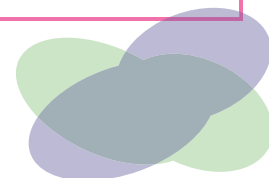
東京商工会議所女性会 今後の事業予定

(2019 年 3 月現在)

日 時	事業名	会 場・場 所
5月22日(水) 13:00～19:30	関東商工会議所女性会連合会 第 34 回総会<栃木大会> (2019 年度)	小山市立文化センター 小山グランドホテル
6月3日(月) 15:45～20:50	創立 70 周年記念式典・祝賀会	パレスホテル東京
6月26日(水) 12:00～14:00	会員交流委員会主催 新入会員を囲む懇親会	六本木ヒルズクラブ
7月22日(月) 16:00～18:30	通常総会・懇親会	丸の内二重橋ビル
7月24日(水) 10:00～13:20	ビジネス研修委員会主催 新東京丸視察会・ビジネス交流会	竹芝 インターコンチネンタルホテル
7月30日(火) 16:00～20:30	社会貢献・観光委員会主催 講演会	紀尾井フォーラム 東京ガーデンテラス
9月中	会員交流委員会主催 会員交流ゴルフコンペ	未定
9月5日(木) ～最長7日(土)	第 51 回全国商工会議所女性会連合会 鹿児島全国大会	鹿児島県鹿児島市
9月17日(火) 18:00～20:15	ビジネス研修委員会主催 講演会・ビジネス交流会	東京ベイコート倶楽部
10月11日(金)	理事選任選挙に係る臨時総会	丸の内二重橋ビル
1月30日(木) 17:30～20:00	新年懇親会	ホテル椿山荘東京
2月13日(木) ～最長15日(土)	全国商工会議所観光振興大会 in 金沢	石川県金沢市
3月中	関東商工会議所女性会連合会共催 講演会	丸の内二重橋ビル

いずれの事業も、開催日の概ね 1 ヶ月半前からご案内・募集を開始いたします。
皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

※ 発行時(7月22日)において実施済の事業も記載されております。





TOSHIO
Lady
東商レディ

2019年7月22日/第24号

発行所 東京商工会議所
組織連携課
発行人 東京商工会議所女性会
編集 東京商工会議所女性会